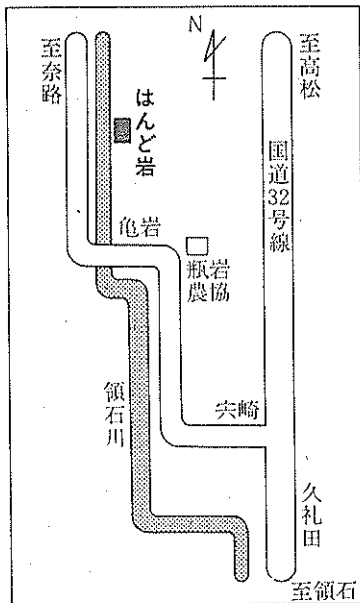
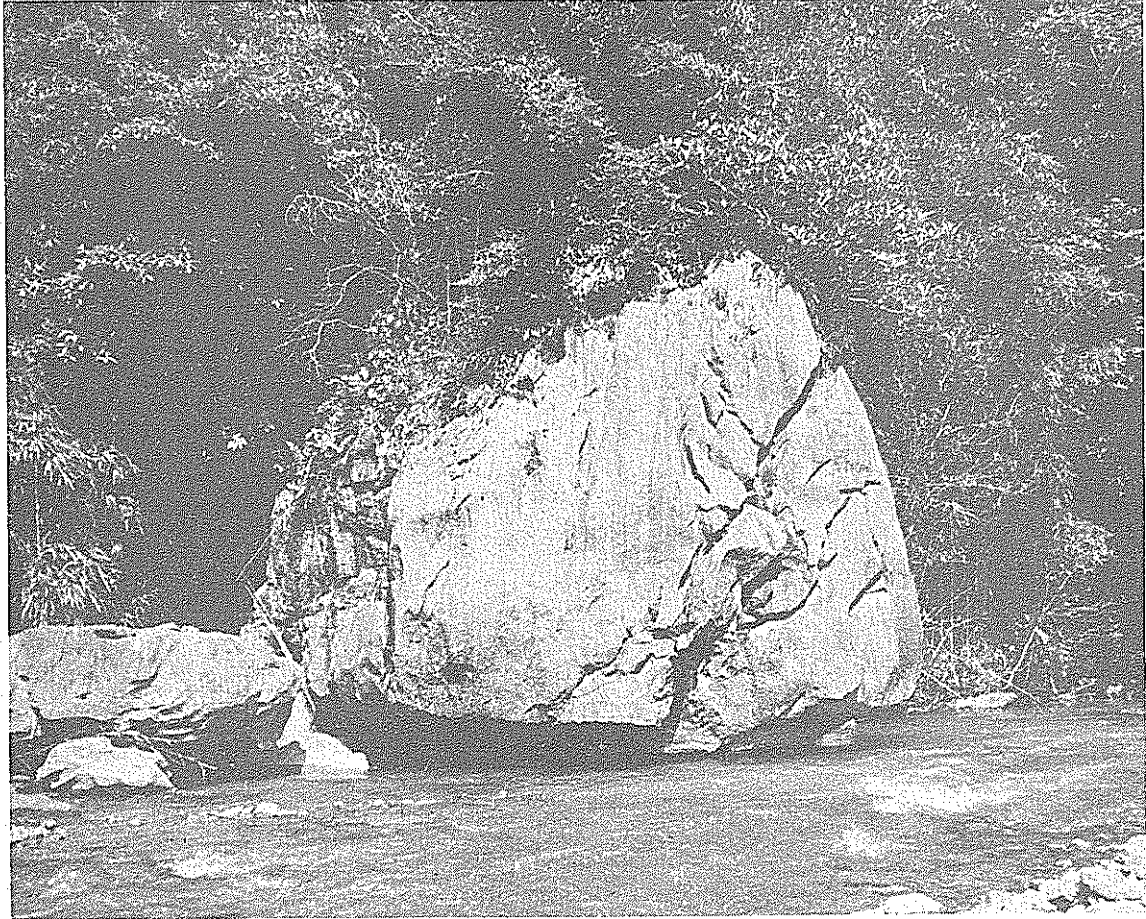


史跡・文化財めぐり⑬（瓶岩のはんど岩）



この壺を逆かさにふせたような岩を、通称瓶岩のはんど岩といひ
木花咲耶姫が酒を造ったという伝説がある。

この岩は、奈路川と釣瓶川の両清流を合わせて流れる瓶岩川の左
岸を少し上ったところがあり、対岸のオンビキ岩とともに土地の人
々の信仰の対象となっていて、百日咳の平癒のお願いに片方の草履
を供えるならわしという。また、旧瓶岩村の村名のおこりは、伝説
にとむこのはんど岩から取ったものである。

広報 **なんこく**

5/15 1976 No.218

編集・発行／南国市広報委員会

深刻な財政危機の克服へ

高負担・福祉後退止むを得ず

年間一億円の赤字解消

増税・人件費など削減で

極度の赤字を抱えた市財政の建て直しをはかるため、さる二月二十五日付で、市長から諮問され、「市財政再建計画」を審議していただきました。市財政再建審議会（松木二郎会長、市議会議員十五名）は、これまで十二回の会合と二回の意見聴取のうえ、市税の増収・人件費の削減など歳入増強、歳出抑制により年間一億円の赤字解消をはかる、そのための「高負担」や「福祉後退」など一時的に余儀なくされる行政水準の低下は止むを得ないとした。中間答申をまとめ、五月四日、十三回審議会の終了後、松木会長より中間答申書を、小笠原市長に手渡しました。

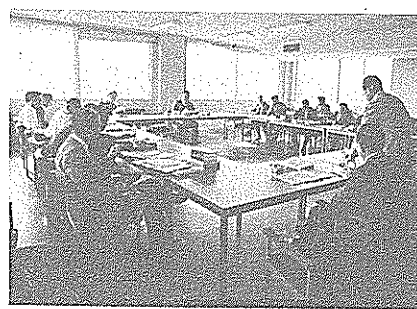
支所は廃止

事業費ゼロも

当初、五十年より四億四千万円を削減する計画案でしたが、審議するなかで、四億一千九百万円と大幅に修正を加えた答申がなされ、再建への一歩を踏み出すことになりました。

最後まで問題となった補助金、扶助費、物件費は、歳入に一億一千万円のすっきりしない不確定な財源の要素があるため結論に至らず、義務的で直に止むを得ないもののみ予算計上し、それ以外のものは削減されました。

この中間答申は、諮問された基本方針（歳入増強と歳出抑制の具体的事項のほか、前文と結語からなり、すでに実施されているものもあり）を踏襲し、再建に万全を期せよと要望しています。



自主再建で

なくしたい外的要因

この中間答申は、諮問された基本方針（歳入増強と歳出抑制の具体的事項のほか、前文と結語からなり、すでに実施されているものもあり）を踏襲し、再建に万全を期せよと要望しています。

答申の特色として、前文で、全国的な地方財政危機の原因は、「石油ショック以降の経済変動▽地方財政制度運用の不適正▽ばく大な超過負担▽地方交付税財源が財政需要に比し極めて少ない、などの外的要因」と、「事業財源の不足▽後年度への繰越▽管理経費の削減努力の不足▽保育など高福祉行政水準の維持▽人件費、扶助費、公債費など義務的経費の増大」など財政運営の不適正な内的要因と指摘し、再建は、「財政力の確立と財政の自主権を尊重する立場から、多くの制約を受ける再建運用団体への転落を避け、市・議会・職員・市民が一体となり、「対話と理解」を基調に、自主的に深刻な財政危機を克服することは地方自治の本旨であり、行政者に課せられた重大な責務である」と自主再建を強調しています。

財政再建審議会

中間答申

こんどの答申となった（基本方針）——広報なんこく三月十五日号参照——とその（具体的方策）については、ともに一部修正はありましたが、諮問案とほぼ同じ。

五十年の単年度赤字は五億四千万円（累積八億二千万円）と予想され、このままでは準用団体への転落という最悪な事態になりかねない財政状況にあり、これを標準財政規模（二十億円）の二〇割未満に抑えるため、支払いの繰り延べ、予算の不執行、市有財産の処分、開発公社への売却（四億二千万円）などの措置で打開するとともに、他市に例をみない経常収支率一〇四割（今後、八十割程度に抑制）という、経常費で赤字の出る慢性的な不良財政構造を改め健全化をはかる。

赤字の解消は、諮問のとおり、標準財政規模の五割、一億円を年間解消額と答申されました。地方交付税五千万円が見込まれる。

職員の昇給カット

今回答申された、（具体的方策）別表参照は、これから実施される財政再建計画の骨子で、歳入増強、歳出抑制の両面にわたり極めてきびしいものといえます。

歳入で、▽市民税など市税の税率アップ六千三百円▽公営住宅など使用料・手数料の引き上げ三百五十万円▽保育料の値上げ（実質、国の基準以下）一千六百万円▽答申で八千三百五十万円（諮問案八千三百万円）の増収。

このような異常な財政危機を克服するために、「適切な具体策と強固な意志で実施すべきで、そのための住民に対して「高負担」・「福祉後退」を余儀なくさせ、さらに大幅な事業費の削減など一時的な行政水準の低下は、赤字解消のため止むを得ない。」また、「人件費の抑制は、直接職員に大きな影響を与え、反発が予想されるが、住民や職員に対しては、常に十分な対話を行ない、その理解のうえにたつて将来の発展を期したい。」

事項別による再建計画 修正案と原案との比較

財政再建計画の内容		原案	修正案
歳入	税収入（税率の引き上げ）		
	▷個人市民税所得割 1.1倍	2,300	2,300
	▷法人市民税均等割 法改正による超過	200	200
	▷固定資産税 1.6/100を1.7/100に	2,100	2,500
	▷軽自動車税 2割増	600	600
▷雑資産税 2割増	100	100	
小計	5,800	6,300	
使用料・手数料	▷公営住宅使用料	500	250
	▷手数料	100	100
小計	600	350	
分担金・負担金	▷保育料	1,900	1,600
歳入合計		8,300	8,250
歳出	人件費		
	▷定期昇給の延伸（12ヵ月分）	(3,000)	(3,000)
	▷通勤手当の引き下げ	600	600
	▷時間外手当	1,500	2,400
	▷管理職手当廃止	400	4,400
	▷奨励退職による不補充	14名 5,100	17名 6,300
	▷臨時職員の廃止	4,500	1,000
	▷消防団員の手当の廃止	250	
	小計	1億2,350	1億700
	物件費		
▷旅費	400	400	
▷庁舎清掃	700	700	
▷ゴミ袋の有償化（金額市民負担）	1,600	1,600	
▷し尿処理手数料引き上げ	1,500	1,500	
▷その他	1,300	1,300	
小計	5,500	5,500	
補助費等			
▷市民前納報償金（1/2に）	260	260	
▷その他の報償費（報酬の見直し、謝金廃止等）	700	700	
▷補助金等（標準財政需用額の3%として）	3,000	1,600	
小計	3,960	2,560	
扶助費			
▷失業対策扶助	9,500		
▷浴場関係（同和地区の入浴料扶助の廃止等）	1,240	1,000	
▷奨学資金	1,540	770	
▷その他の単独扶助	1,160	1,210	
小計	13,440	2,980	
他会計への繰出金	1,000	1,000	
歳出合計	3億6,250	2億2,740	
総合計			
①は当然増であるので、節減分として計上していない	4億4,550	3億0,990	
②の補助金等、失業対策扶助については最終答申を待って計上す			

今後の市政の糧に



市政モニター制度は、昨年四月、市民から二十名のモニターを委嘱し、モニターの目を通していろいろの角度からみた市政のあり方など、アンケートや意見を寄せていただき、行政へ反映させるために行なってきました。

市民の声を市政に反映

第一回アンケート

第一回アンケートは「市民の自治意識と行動」「広報なんこく」についてたずねました。

市政に対する関心度

南国市に「非常に愛着がある」55%、「普通」45%、住みよい町づくりのためこれまでに市に意見や提案をしたことが「ある」70%、「ない」30%、「日ごろ市政に関心をもって

市政への意見反映方法

「担当課に話す」35%、「対話集会など」25%、「町内会、部落会を通じて」15%、「市会議員を通じて」15%、「市長らに陳情」「団体を通じて」「その他」が各10%、「投書」5%となっています。

市民参加の可否

市政をすすめるにあたっては、「なるべく市民の声をくみあげて市政に反映すべきである」100%、「市政は市長や議員にまかせて市民は関係する必要がない」という

老人年金は国が制度化を

第二回アンケート

第二回アンケートは「老人の福祉対策についてたずねました。『老後の生活への関心』

老後の生活への関心

老後の生活に関心を示している人が多く84%にいたり、老人問題での問題は「子の扶養意識の低下」42%、「老人に対する社会全体の理解の稀薄さ」10%、「年金など

第二回アンケート

即売会▽地区ごとの老人教室（親子共々出席して明るい学習）▽老人の主張（日ごろ感じるお年寄りの生の声を）▽老人向けの軽い仕事の特設▽福祉電話の設置▽老人と若者や子供が一体となったレクリエーションなどでした。

「ひとり暮らしの老人対策として」は「老人ヘルパーの派遣」45%、「介護人の派遣」14%、「老人クラブ会員などによる友愛訪問」18%、「福祉電話」14%など、ひとり暮らしの老人には身の回りの世話や話し相手になる人の派遣もしくは訪問が望ましいとしています。

老人大学の開設▽老人作品展

寄せられたアイデアは「老人大学の開設▽老人作品展」異っているもので、それを考慮した行事内容が望まれます。

市民文化の向上のために

「図書館など文化発展のための施設の必要性和市民一人ひとりが余暇を作って催しに参加する」という意見があげられます。

既存の文化財保護、自然環境の保全、財政、市の姿勢」なども大きな要素のようです。

地方財政危機を考える

モニター懇談会

当面する市政の重要課題である財政再建、地方財政危機を考えるというテーマで、行財政の実態や財政再建について全員で意見交換

△赤字解消のために財産処分をするというところ民間へ売ること

△今のところ民間へ売ることには考えておりませんが、いよいよの時は開発公社へ肩代りをさせる考えです。

△開発公社が先行取得して、市がどうしても始末をしなければならぬものが十億円あると聞き

△全部が土地ではなく、事業もやっている。市道の舗装に三億円、庁舎の一部も一部未払になつてい

いをしておいてです。使っているものもある。市が引き取らなければならぬのが十億円、他に売

う意見が根強く注目されます。『老人クラブへの参加』「あなたの家族や近所のお年寄りは老人クラブに」は「加入している」79%、「加入していない」21%。加入していない理由として「加入すると老人くさくなる」33%、「加入しても事情があつて活動に参加できない」33%などとなっています。

「これからの市政はどうあるべきか」第三回アンケートは「これからの市政はどうあるべきか」というテーマで、各モニターの率直な意見、提言を寄せてもらいました。

第三回アンケート

寄せられた意見の大部分は、空港拡張問題、財政問題、教育問題など、これらの意見は広報なんこく二月一日号で紹介しました。

何らかの形で文化活動に参加

第四回アンケート

第四回アンケートは「文化とどうあるべきか」についてたずねました。『文化の意義』

「毎日の生活に生きがいや張りあいを感じさせるもの」35%で、

「人間は文化なしでは考えられず世の中全ての事象をいう」29%と、言葉の豊富さを示しています。

文化財

南国市の文化水準については、「標準以下」35%という厳しい意見があり、「標準である」47%がかなり上回っている状態です。

文化財保護については、価値により保存」88%が圧倒的に多く、「開発が優先」は、わずか6%となっています。

関心のある文化財としては、国分寺、岡豊城址、紀氏邸跡、土佐



6月6日

一斉清掃の日

6月6日は一斉清掃の日です。これは6月5日～6月11日の「環境週間」にちなんで毎年行われているものです。

「市民総ぐるみの一斉清掃。もうすっかり市民のなかに定着。毎年、多くの市民の積極的な参加によって「美しい町づくり」が進められています。

今年も、6月6日に市内一円で展開される一斉清掃に、市民のみなさんの協力をお願いします。

公害環境課

もう手続きはお済みですか

市民交通傷害保険

あなたは市民交通傷害保険に加入していますか。

五月は、市民交通傷害保険の「契約を更新する時期」です。昨年加入していた人も五月末で期限切れになります。五月末日までに加入の手続きをしましょう。

とできる限り早く申し込みたい。一口で、年間四百八十円という安い掛金でありながら、傷害の程度に応じて五千円から八十万円までの高い補償がされています。

二級障害福祉年金の請求

障害福祉年金は、こんなときにもらえます。国民年金制度が発足する前や二十歳になるまでに病気やけがをしたためすでに障害者になっているとき、あるいは国民年金に加入しているあいだに病気やけがをして障害者となり国民年金

の加入期間が短かいたために拠出金の障害年金が受けられないときなどに障害福祉年金がもらえます。この障害福祉年金は、いままで一級障害者に限られていましたが、昭和四十九年四月から、これよりも少し軽い程度の障害者ももらえ

に備えましょう。もし事故にあわれたら軽いけがでもおそろかにせず、できればその場ですぐ警察へ届出をしてください。請求のときには警察の証明を必要とします。また、市役所公害環境課にも忘れずにご連絡ください。

申込みは、市役所、銀行、農協でうけつけています。おたすねは公害環境課まで。

国債 国庫債券の買上償還・担保貸付 第四回と第五回の特別給付金 国庫債券の買上償還および担保貸付

Table with columns for serial number, issue date, and interest rate for national bonds.

Table with columns for serial number, issue date, and interest rate for national bonds.

相談 税のよろず相談

すべての税金、税のあらゆることについて、みなさんからの相談を受けるとともに、税の正しい認識と納税者の有利なことがらを進んでお教えするなどの適正な申告納税の手助けをするための「税務相談室」は、高松国税局に、その分室が高知税務署(二階)に設けられ、休日を除く毎日、面接や電話などでの相談に応じています。

試験 国家公務員中級試験

国家公務員中級試験が次のように行われます。試験の内容は短期大学卒業程度です。

受付期間：六月七日から六月十六日まで。

受験資格：昭和二十四年四月二日から三十二年四月一日まで

申込用紙の請求、問合せは人事院四国事務局まで、〒760 高松市松島町1丁目17の33・電話0878(31)4765

るようにと、障害福祉年金の支給範囲が二級まで拡大されました。

県下には、二級障害福祉年金をもらえらると思われる人が約二千人くらいいます。このうち裁定請求をすまされた人が約七百人、まだ請求をせずにそのままになっている人がたくさんいます。

係でおたすねください。障害の程度 ○メガネをかけてもぼんやりとしか見えない。(両眼の視力の和が〇・五以上〇・八以下) ○耳もとて大声でないと聞こえない。(両耳の聴力が八十デシベル以上)

○骨幹などの障害のため、屋外では杖、松葉杖などの補助用具がないと歩けない。 ○食物をかみくだく能力がないため流動食しか食べられない。 ○肺結核、心臓病など長期にわたる病気のため安静を必要とし、日常生活が制限される。

○精神病で社会生活ができない。 ○精神薄弱で痴愚程度のももの。 市民課年金係

買上償還の対象者 ○生活保護法の適用によって保護を受けている人。 ○今は保護を受けていないが、著しく生活が苦しくて、福祉事務

日本脳炎の予防接種

かかりつけの医療機関で

次の日程で日本脳炎の予防接種を行います。

方法は昨年まで実施しているように、個人の体質、健康状態をよく知っているかかりつけの医療機関で接種してください。

▼問診票は医療機関にありますので自宅で必ず体温を測定して行ってください。

▼次の人は予防接種を受けられません。

有熱患者、心臓血管系、糖尿病、かっけ、じん臓病、病後衰弱者、著しい栄養障害者、けいれん性体質、妊産婦など。

対象者……3歳～15歳、55歳～64歳までの一般の希望者(保育、小中学生は、保育所、学校で行いま

す) 接種回数……毎年接種している人は1回、今年のはじめて接種する人は7日～14日間隔で2回。 料金……1人1回、一般は500円、中学生以下は300円(生活保護法による生活保護をうけている人は無料) 接種日……6月22日～23日 7月1日～2日 7月13日～14日 時間……診療時間(午前8時30分から午後5時まで)住診などのため医師がいないときがありますので、なるべく午前中に行ってください。

公害環境課

《予防接種を行う医療機関》

Table listing medical institutions for vaccination, including names and locations.

▼上倉地区は次の通り行ないます。一般の人もおいでください。

Table showing vaccination dates and locations for the Utsunokura area.

5 6

市民カレンダー 5月21日から6月10日まで

日	一般・衛生行事	日	一般・衛生行事
21(金)	野田キッチンカー（高血圧食講習）・11.00集合 下野田公民館	29(土)	
	上倉・岡豊キッチンカー（高血圧食講習）・1.00集合 岡豊地区公民館	30(日)	⑩(日) 休日在宅医・吉川診療所（稲生） 4-3183
	長岡東部乳児検診・1.30～2.00 東部公民館 （3ヵ月～1年6ヵ月）	31(日)	
	不燃物の収集・1区～8区、南小笠、北小笠 （祈年団地を含む）	1(火)	不燃物の収集（里改田、片山）
22(土)	不燃物の収集（瓶岩、上倉）	2(水)	前浜乳児相談・9.00～3.00 南部福祉館 不燃物の収集（浜改田）
⑫(日)	休日在宅医・東川整形外科（大埴） 3-3261	3(木)	不燃物の収集（前浜、下島、久枝）
24(月)	岩村・日章離乳食講習・1.30集合 日章地区公民館 （50.10.1～51.3.31生）	4(金)	稲生乳児相談・10.00～3.00 稲生地区公民館 不燃物の収集（立田）
	不燃物の収集（国府、岩村）	5(土)	不燃物の収集（田村）
25(火)	岩村結核・老成人検診・9.30～11.30、1.00～2.00 岩村地区公民館	⑬(日)	休日在宅医・柴田外科（大埴） 4-3412
	生ワク・1.30～2.30 岡豊地区公民館、三和地区公民館 不燃物の収集（笠ノ川、八幡、小越、定林寺、滝本、蒲原）	7(月)	三和乳児相談・9.00～3.00 三和支所 十市乳児相談・10.00～3.00 十市支所 後免・野田・大笹乳児相談・9.00～4.00 市役所3階保健婦室 不燃物の収集（十市）
26(水)	生ワク・1.30～2.30 鷹ヶ池中学校、大笹地区公民館	8(火)	不燃物の収集（稲生）
	愛の献血・10.00～11.00（榊鈴江農機製作所） 不燃物の収集（中島町、沖、山島、吉田、常通寺島、江村、小笠）	9(水)	不燃物の収集（能間、野田口、城陸、朝日町）
27(木)	生ワク・1.30～2.30 日章地区公民館	10(木)	不燃物の収集（稲吉、西窪、新川、鈴江）
	不燃物の収集（植田、久礼田）		
28(金)	長岡西部離乳食講習・1.00集合 中央福祉館（3ヵ月～1年）		
	長岡西部乳児検診・2.00～3.00 中央福祉館 （3ヵ月～1年6ヵ月） 不燃物の収集（植野、領石）		

●五月は固定資産税（二期分）・軽自動車税の納付月です

4月の交通事故

	件数	死者	傷者
4月の事故	14件	0人	16人
昨年の4月	27件	1人	48人
ことしの累計	78件	2人	150人

交通事故は 110番へ

火災と救急

	火災件数	被害額	救急件数
4月の件数	3件	161万円	60件
昨年の4月	4件	915万円	53件
ことしの累計	13件	3,278万円	269件

火災と救急は 119番へ